



# 後期高齢者医療制度 即時廃止が国民の声だ

大城 敏彦 議員

度定着させていくかという真摯な議論に欠けていると認識している。今後議論が深まってくるだろうと思うだけに、いま地方自治体の側から見解を述べる事は差し控えたい。

## 財政赤字のつけ払い されてはたまらない

**問** この制度の医療費は、75歳以上の高齢者自身が1割、その他の保険者から支援金として4割、国や県・自治体の公費から5割という仕組みで、今後の高齢化社会を考えると高齢者の絶

対数は増え、医療給付もまた増えることになる。その増加分をどの部分が負担するかとなれば、政府はもとも医療費抑制のために導入した制度で増加は見込めず、支援金の部分は自然減となり、必然的に高齢者への負担割合が高まって行かざるを得ない制度だ。

**市長** もとに戻して解決することでないことだけはわかるが、仕方がないかという、それでもない。

**問** 後期高齢者医療制度は、75歳以上の高齢者をひとくくりに分類して、ターゲットを絞った上で医療給付の抑制をやり易くする国の考え方がこの制度設計の根本にあるものだと理解している。だから、高齢者の皆さんが「国家財政の赤字を理由にした高齢者切捨てだ」という批判は当然だ。この制度を苦にして自殺者も出るほどで、即時廃止が国民の声だと思うが。



どうなる今後の高齢者医療 (イメージ)

**市長** 少子・高齢化の中で皆保険をどういう具合に制

# 耐震補強工事は「財政難で手をこまねいている」市長答弁 弥吉 治一郎 議員

**問** 中国四川省の大地震後、学校などの耐震補強工事が叫ばれている。18年の耐震検査で、3校が強度不足と診断され早急な工事が必要とされた。補強工事の計画は、市庁舎や消防本部はお金がないとの理由で耐震検査さえしていないが。

**市長** 財政難ゆえに、手をこまねいている。

**社会教育部長** 教育委員会として、補強工事を行う計画を持ってはいるが、財政当局とのコンセンサスはまだ得ていない。

**学校教育課長** 21年度に診断をして、年次的に設計・工事を行うように計画している。

**問** それでは、一番早い学校でも、23年ということだ。補強工事は人命にかかわる。前倒しで、早急に実施すべきだ。市には、そんなお金もないのか。

## 井田団地建設の業者指名は市の規程違反だ

**問** 井田団地建設の業者指名では、年間3,000万の受注しかしていない会社を工事予定価格が、その10倍3億円もの工事に指名した。こんなことがまともな行政と言えるのか。何か目に見えない圧力があつたのではないか。過去に今回のような、年間工事高

の10倍という指名をしたことはあるか。

**副市長** 業者の指名では、要綱の基準についてはクリアしなければという観点から審査している。圧力は、なかった。

**会計課長** 過去には、年間受注高の10倍という指名はなかった。



地震で倒壊の恐れ (耐震不足) と診断されている校舎